

シルバー やまがた

第113号 平成26年1月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会
正会員数 947名 賛助会員 53個人・52団体(12月末現在)



最上義光騎馬像 (東沢地区 山田朝邦さん撮影)

—— 内容紹介 ——

- | | | | |
|----|-------------------------------|--------|--------------------|
| P2 | 新年のご挨拶 (山形市長)
新年を迎えて (理事長) | P6 ~ 7 | 会員のひろば |
| P3 | ブロック研修会・地区研修会 | P8 | 人あり・技あり・心あり |
| P4 | 事業普及啓発活動を実施
安全就業推進活動 | P9 | 就業会員を訪ねて
新入会員紹介 |
| P5 | 地域紹介「わが街自慢」 | P10 | 事務局だより |



新年のご挨拶

名誉会長・山形市長 市川 昭男

新年、明けましておめでとうございます。高年齢者保健福祉計画・第五期介護保険事業計画」に基づき、高齢者になつても住み慣れた地域の中で生活

を続けることのできる環境づくりに鋭意取り組んでおります。こうしたまちづくりを着実に進めていくためには、関係機関と地域社会、そして行政が連携しながら取り組んでいくことが肝要であります。

頃から会員の皆様方の知識・技能・経験等を活かした就業活動をはじめ、清掃等のボランティアや福祉施設への寄附など多岐にわたる事業を通して、地域社会の活性化と福祉の増進に大きくご貢献いただいております。

長瀬理事長をはじめ会員の皆様に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げます。さて、少子高齢化の急速な進行による人口減少社会を迎え、団塊の世代の相次ぐ定年退職による労働力不足や社会保障費の現役世代の負担増等が大きな課題となつており、将来にわたつて社会の活力を維持していくためには、健康で就業意欲の高い高齢者が地域経済の担い手として活躍できる多様な就業機会の確保が不可欠であります。

このような中、本市では「山形市高齢者保健福祉計画」の推進を図るとともに、関係機関と地域社会、そして行政が連携しながら取り組んでいくことが肝要であります。

結びに、貴センターのますますのご発展と、新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年を迎えて

理事長 長瀬 洋男

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、輝かしい年を迎えられましたこととお喜び申しあげます。また、昨年中は皆様には格段のご支援、ご協力を頂き、厚くお礼申しあげます。

さて、厚生労働省職業安定局長が開催した『生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方に関する検討会（座長・大橋勇雄中央大学大学院教授）』が、昨年六月にその報告書を公表しました。

報告書では、『高齢者が定年等を理由に現役から引退した後も、就労等を通じて地域社会で「居場所」と「出番」を得られることや、高齢者自身がその蓄積された知識・経験を活かして、地域社会の「支え手」となり、健康で意欲を持ち続けながら生涯を送ることのできる『生涯現役社会』の実現に向けた就労・社会参加のあり方の方策を提示する』とし、シルバー人材センターのさらなる活用を提言しています。

平成二十四年の山形市の高齢化率は、二十四・七％と四人に一人が六十五歳以上となつており、戦後生ま

を傾けられたことと思います。特に、「生き生きと生きるために」

ブロック研修会・地区研修会

総務部会長 鈴木 洋一

平成二十四年四月一日からの公益社団法人移行に向け、研修会のあり方について新たな実施策を総務部会で協議してきました。その結果、現在の「ブロック研修会」と「地区研修会」の二通りで実施することになったものです。

今年度の「ブロック研修会」は、私達の世代がこれからの人生を健康で豊かに過ごすためにはどのような

ことに留意すればよいのかについて、元山形市教育長小関文助氏に講話をお願いしましたところ、「生き生きと生きるために」と題して、第一部では元氣の出るようなお話を主体に、第二部では腹話術での昭和歌謡史というものを実施いただくことになったものです。

第一部では、講師の軽妙な語りや笑いを誘われ、含蓄のある言葉に耳

平成25年度地区研修会実施状況

(平成25年12月末現在)

地区名	実施日	場所	出席数
第2	11/20	西部公民館	15
第5	合同 11/26	南部公民館	10
第6			16
西	10/25	西田中央公園集会所	15
第8	11/15	東部公民館	15
第10	11/21	第10地区福祉会館	14
鈴川1	合同 10/29	鈴川コミセン	11
鈴川2			10
鈴川3			17
千歳	11/22	千歳コミセン	16
飯塚・榎沢	11/1	飯塚コミセン	13
東沢	11/27	東沢コミセン	12
出羽・明治	12/10	出羽コミセン	10
金井・大郷	12/4	嶋南町内会集会所	19
蔵王	11/6	蔵王コミセン	20
山寺・高瀬・楯山	12/11	楯山コミセン	12
南山形・本沢	12/4	南山形コミセン	20
南沼原	11/12	南館ふれあい会館	26
西	12/18	大曾根コミセン	10

会員が受講できるよう二十五の地域班を三ブロックに分けて実施しましたところ、指定日以外でも受講できるようにしたことから受講者も増えてきております。今年度は十一月二十五日、二十九日、十二月二日の三日間実施し受講者数は延べ四百二十八名となりました。お忙しい中、研修



会に出席いただきました会員の皆様



我が街、金井・大郷地区は、国道一―二号沿いの江俣・金井地区を中心に、西北部は山辺・中山両町に隣接する地区、さらに東側では馬見ヶ崎川西岸まで広がる広いエリアです。会員の皆様も、住宅地である江俣・金井地区を中心に各地区に万遍なく分散しております。

昔のこの辺は、鶴岡方面へ抜ける街道のひとつと聞いており、現在も旧家が残る街角や、古い神社等がある情緒豊かな所もあります。

今までは住宅地として発展して来た当地域であります。最近では山形で一番新しい商業地域であります。商業・新興住宅地として発展しつつあります。また、西バイパスが延長され、天童方面への主要な道路と、二つの国道を市



最近の嶋地区の様子

金井・大郷地区

藤井 哲

の北側で結ぶ新しい道路とがこの嶋地区内で交差し、多くの車が行き交う場所となりました。これからもこの嶋地区を中心に、益々発展変貌して行くものであろう我が街であります。

地域紹介

わが街自慢

パートII

「地名はすべからく佳字二文字で表記せよ」の令に合致する表記と美しい響きの地名ばかりである。

上飯塚・揚柳寺境内に市の特別



延文二天の年号 阿弥陀、観音、勢至の阿弥陀三尊が刻まれている

飯塚・榎沢地区

小山 忠一

「飯塚」の地名が初めて見られるのは十六世紀初めに書かれた『湯殿山大権現』と呼ばれる文書に於いてである。「榎沢」八幡、飯塚には惣之権現」と言った具合に各地区、村々におわす神仏の名を列挙してある。

さて、飯塚や榎沢の地名がいつ頃から呼ばれるようになったか。それは不明である。不明ではあるが共に地形に関係する地名であるので地区の開発が進んだ中世初めころには呼ばれていたと思われる。

「地名はすべからく佳字二文字で表記せよ」の令に合致する表記と美しい響きの地名ばかりである。

文化財「延文二年板碑」というのが建っている。「延文」は南北朝代の北朝方の年号、「二年」は最上氏の始祖「斯波兼頼」が山形に入府した翌年、山形城と山形の街作りを開始した年で、兼頼が城の四方に建立した四つの内の一つとも言われている。近年この飯塚山揚柳寺のすぐ隣から古墳時代の集落遺跡が発掘された。

事業普及啓発活動を実施

広報部長 小林 誠

十月の全国一斉シルバー事業普及啓発促進月間に合わせて、普及啓発活動を実施しました。

主な内容は、「広報やまがた（十月十五日号）」へチラシの折り込みによる全世帯へのPR、ボランティア活動による馬見ヶ崎川敷の清掃（十月九日）、役員による街頭啓発活動です。

街頭啓発活動は、十月二十二日にイオン山形南店・北店において、理事長はじめ役員、専門部会員三十名が十時から十一時まで、PRチラシを配布し、事業の利用と入会の勧誘を行いました。

当日は火曜市の開催日で、いつもより多くのお客様が来店



される中、準備した千五百枚のチラシを配布しました。

お客様の中には、子育て支援などの事業について説明を求められる方もおられ、活動の目的は達せられたものと思います。

また、十月二十六日から二十八日まで山形テルサで開催された互助会主催の文化祭会場にPRチラシを準備するとともに、パネルを展示してシルバーの紹介、周知を図りました。

文化祭には二八二名の来場があり、事業の普及啓発ができました。



安全就業推進活動

安全就業推進委員長 矢代 鉄也

《山形県安全就業推進大会》

県内の全センターが一同に集まって十月十日、十五回目となる安全就業推進大会が山形ビッグウイングで開催されました。長瀬副会長の開会のあいさつに始まり、堀江会長のあいさつ、来賓の方々の祝辞等があり、安全就業優良SCのセンター賞に鶴岡市SCが、特別賞に朝日町SCが表彰されました。

次に、安全標語入選作品八点の発表と表彰が行われ、山形市SCからは渡辺美沙子さんが優秀賞、佳作として鈴木正孝さんが表彰されました。

引き続き安全就業の重要性を再確認し「事故ゼロ」を目指



《最優秀》

事故ゼロをめざせ 仲間の知恵と和で

東根市SC 伊藤 良雄

して安全就業の徹底を図る「安全就業宣言」を参加者全員で宣言しました。

《抜き打ち不定期パトロール》

安全就業推進委員会では、毎年一回夏期パトロールを実施していますが、今年度から更なる安全就業の徹底を図るために、抜き打ち不定期パトロールを十一月に実施しました。委員が、三日間で九か所の就業先をパトロールしました。

この活動が安全就業の啓発に繋がることを期待したいと思います。

安全就業の主役は会員の皆さん一人ひとりです。「事故ゼロ」を目指しましょう。



大郷三十三札所



金井・大郷地区
岩松 堅一

三十三札所の起源は、中山寺由来記などによると奈良時代に始まったようです。室町時代には庶民の巡礼も始まり、江戸時代になると、観音菩薩が三十三の姿に変化して衆生を救うとして観音巡礼が広まり、多くの参拝者で賑わいました。

大郷三十三札所とは、大郷地区内で当時信仰を集めた寺院を選定し、西国三十三霊場などを巡礼できない地区民のためにつくられました。創

多員のひろば

健康・趣味・つながり

る)

・通勤にも車が必要
その他のいろいろありました。

人間の老化は足から体力低下が始まり、立つ足がしっかりしていないと歩行能力が低下して転倒による骨折などになりやすいため日常の歩行生活に気をつけて外出をするときは乗り物を使用しない、また別に歩行と並行して腹から声を出すように多くの人と話をして声帯を使うように努力しています。

毎日のスタートは七年間続けている朝百十分のウォーキング、ラジオ体操、ストレッチです。最初は辛くて止めようと思ったことが何回もありましたが、今では続けないうと一日がスッキリなくなりました。シルバーの就業日も歩くか自転車で行っ

設は、最上川舟運により船町が最も繁栄したところの嘉永元年に最上義定公の菩提寺である中野の雲祥院十五世祖門禪師らによって創られ、霊場ごとにご詠歌をつくり奉納されています。

この札所を昨年と今年の二年かけて、大郷コミセン事業として山形市のバス二台で巡礼しました。巡礼は当札所創設寺の雲祥院梅花講の先達と地元郷土史研究会の案内で行われ、私も参加しました。

この巡礼を通して参加者は、中世の中野城時代、舟運による船町の繁栄など、大郷の歴史を辿り郷土を知り、理解を深めることが出来ました。

双月作業所



鈴川二地区
小林 桂子

場所はちょっと迷ってしまう細い道路を入ったところにありますが、互助会主催の芋煮会は三回続いて自転車再生する作業場にぎやかに盛り上がりました。二階は襖・障子班、網戸班の作業場になっています。

働ける喜び

蔵王地区
城 義禪

今年の四月から山形市シルバー人材センターの会員に入れていただき、六月から黒沢の「いこい荘」で働かせていただいております。就業会員は同年代ということもあり、話題も昔のことから今のことまでほぼ同じように生きてきたことで話も合います。

また、私は競技会に参加したりすることから、競技会等に参加する日には我が儘を言ってお二人に仕事を代わって貰ったりして、多大な迷惑をかけているようですが気持ちよく配慮して頂いて楽しく働かせていただいております。施設の方々からいろいろと気を遣って頂き親切にして頂いてとても明るく楽しい雰囲気です。働き始めてからますます。

今まで働いてきた中で感じたことは、どんなに忙しい仕事、苦しい仕事にも耐えて働くことはできますが、同じに働く職場の人間関係がうまく

剪定班に脚立を届ける会員の方は朝早く出勤され、また自転車即売会に合わせて刃物研ぎをされて頑張っています。

パソコンクラブ、筆耕班の研修をする部屋の前、昭和五十九年に開店し、平成二十四年度から会員互助会の独自事業として月・水・金に九時～三時まで営業する理容室があります。室内にはカメラ愛好会の方々の作品が飾られ、お客様が楽しみに拝見しています。入口には文庫の貸し出しが出来るように本棚が置かれています。

会員を卒業された方々がお元気な姿で、双月まで来て下さるのには頭が下がる思いで仕事をさせていたただいております。会報を見て現在の会員の活動をご覧になって帰られます。今までと角度を変えて別のお仕事をされている皆さん。きっと手ごたえのある第三の人生が開けてくると思っております。



いかなないと仕事もなかなか思うように進まず、職場の雰囲気も悪くなつてギクシャクして辛いものです。その点今の職場は雰囲気良く、仕事の進め方についても楽しく建設的な話が出来るとても感謝をして働かせていただいております。

私は凡人で、常に「小人閑居して……」という「礼記」にある言葉を反芻しています。これまで大きな不善を為さずに生きてこられたのは私に働く場を提供して下さいました皆様のお陰と感謝し、暇な時間をあまり作らないように、この働ける喜びをかみしめながら働き続けたいと考えています。

のんびり・ゆっくり



出羽・明治地区
庄司栄三郎

今年五月に勤めていた会社を退職し、以前からある少しばかりの畑で野菜作りをしています。暇を持て余すばかりでしたので、ある人の勧めもあり、シルバー人材センターに入会しました。すると、思いがけな

知っていますか？ 山形県人の歩行数順位



西地区
渡辺美沙子

私が今実行していることは毎日です。すこやかに過ごすための介護予防です。

三か月前の新聞に全国民の平均歩行数順位が記載されていましたが、新聞を見て驚き、また「ガッカリ」してしまいました。山形県人の歩行数が最下位とは……（平成二十四年度 男性・第四十六位、女性・第四十七位）また、あるセミナーに参加して講師の先生に新聞と同じようなデータを見せてもらい、全国第一位は神奈川県、二位は東京都、三位は大阪府でした。セミナー参加者全員で山形県はなぜ最下位なのか話し合ってみた結果、

- ・都市と違って交通が不便なために一人一台自動車を持つている
- ・近くの買い物でも車で行く
- ・駐車場もスーパーの入り口近くギリギリに駐車するので歩かない
- ・冬期間は雪のために歩けない（高齢者は家に閉じこもりがちにな

い人との出会いや今までは違った人々との交流があり、作業の休憩のときなどには、野菜作りの仕方なども教えてもらい大変参考になっています。

畑の方はというと、今年はまだあまり良くは出来ませんでした。来年はもっともっと多くの種類を植えてみようかと気楽に、そして少しばかりですが欲が出てきて楽しみにしています。

これを大げさにいえば、「晴耕雨読」とでも言うのかなアと思っております。

今まで気付いていなかったことが新たに感じられ、仲間の人たちや農作物に感謝しながら、『のんびり・ゆっくり』生きてゆこうと思っております。今日この頃です。



シルバーに

人あり 技あり 心あり

もっちゃんそば打ちで憩い



東沢地区 藤田 靖久

「ほとんど趣味のない仕事人」それがそばを打つようになったきっかけは、地域の防災会です。酒を飲んだ勢いで、一回もそばを打ったことがないのに道具一式を買ってしまったのです。

その後しばらく経って、大江町の柳川温泉でそば打ち道場が開かれたとの新聞記事が目にとまり、行ってみることにしました。

なんとそこでは、初めから、つなぎなしでしかも水打ちで教えておりとても驚きました。其処には常識にとられない世界があるように思われ、とても魅力的でした。

あれから二十年、続けてこられたのは、そば打ちそのものの魅力は勿論ですが、そば打ち仲間や喜んで食べて下さる方々との交流があつてこそです。そして、そばは中年以降に

好みが出るものと思っていたのですが、孫達が喜んで食べることに驚かされています。先日、地域の老人会にそばを提供する機会がありました。その中の八十歳を過ぎた方から『百パーセントのそばってぼそぼそして好きではなかったが、今日食べて、のどごしも良くびっくりした。長生きすると良い事があるものだ。』と言われてうれしくなりました。

地域にはそば打ちを趣味としている方、覚えたいと思っている方も少なくありません。そんな方々と、自家菜園の成果品を持ち寄って、『飲



自宅での講習会

努めて名前や愛称で呼びかけることにより、子どもたちと意思疎通がより早く生まれてくるそうです。お昼寝をさせたり、おむつの交換をしたり、天気の良い時は近くの公園に散歩と忙しく動き回っています。

おばあちゃんのような優しさを知恵で見守られている子どもたちから「先生お手紙」とラブレターをもらった時や、お迎えが来て家に帰る際に「一日楽しかった」という一言は本当にうれしいそうです。

佐藤さん達が張り切って仕事をしているのを見て、毎日の生活を充実して送っているに違いないと思えます。(取材・広報部)



就業会員を訪ねて

佐藤美紀子 (めんこいひろば)

庭の植え込みがきれいに刈り込まれ、秋の日差しに色あざやかに輝く鈴川交流センターへ、めんこいひろばに就業する佐藤美紀子さんを訪問しました。

スタッフの構成は、保育士四名、シルバー会員八名が交替で仕事をしています。生後六カ月の赤ちゃんから就学前までのお子さんを預かっています。設立して七年になり、年間登録者数も二〇〇名程度になりました。一日に預かりできる人数は八名ということです。時にはキャンセル待ちで予約をするお子さんもあるそうです。

仕事は、保育士さんの指示で補助の仕事をします。その日に予約を受けた子どもの持ち物を間違えないように、白いガムテープに名前を書き準備して待っています。また、子どもたち自身の肩にも名前を貼り付けてもらっているそうです。このアイデアによって、すぐに名前で呼ぶことができるのです。



む・打つ・食べる』そんなお付き合いを大事にしていきたいです。五感と体を集中して、そばと話しながら時間をかけて作るそばは絶品です。取材中、新そば「でわかおり」の十割そばをこちそうになつてきました。味・風味・香り・喉ごしはプロです。そばを語る藤田さんはすごく熱かったです。(取材・広報部)

釣果で家族団練

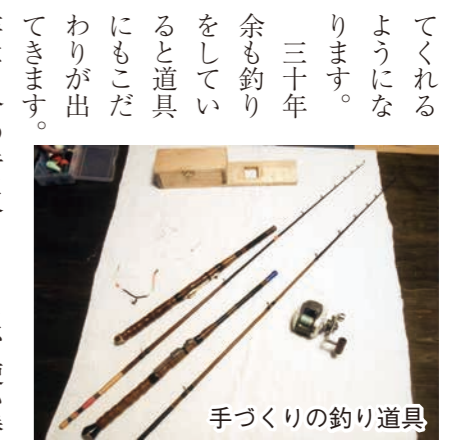


第五地区 柿本 青史

小さいころからよく近くの川で釣りをしました。でも川魚は生臭さ、泥臭さがあるため、喜んで食べてはもらえませんでした。

船釣りを始めたのは、仙台にいた三十歳の頃、先輩と女川港に行ったのがきっかけです。それからは、休日に巨理や塩釜、大船渡など宮城、三陸沿岸に出かけるようになりました。

船釣りの第一のコツは、情報の豊富な船頭さんと仲良くなることです。そうすると釣れるポイントに案内し



手づくりの釣り道具

竿は自分の手に合うように、使い勝手がいいように市販のものを加工し、仕掛け、重りや餌箱も自分で作りま

ちよつと古い話になりますが、平成五年五月、日刊スポーツの釣り大会の下見で、四十七センチ、一・三キロもの大きなカレイを釣り上げ、新聞記事にもなりましたが、魚拓などはありません。獲物は食用にするのが目的だからです。

釣った魚は自分でさばき、刺身や煮付け、塩焼きにして食卓を囲み、家族団練のひとつを過ごします。一度に食べきれない時は、冷凍や干物にして保存し、子供や孫が来た時の食材となります。

皆から「美味しい」と言われた時には、釣りをやってきてよかったなあと思います。(取材・広報部)

新入会員紹介

(10月1日～12月31日まで)

第二地区	小林 敏子	東沢地区	山野枝美子
山口 隆三	滝山地区	村上 高幸	
齋藤 利則	水戸 照国		
八嶋 國夫	出羽・明治地区	関口 春介	
武田 義晴	菅井 和廣		
樋口 栄寛	金井・大郷地区	板垣協五郎	
東海林成公	板垣 純子		
齊藤 重美	大場 隆		
齋藤 繼彦	専・高瀬・植山地区	赤塚 正弘	
岸 修平	蔵王地区	折笠 一成	
荒井 幸男	鈴木 広志		
伊藤由紀子	南形・本沢地区	須藤 均	
鹿野 順子	落合 米男		
福田 行雄	田嶋 喜代		
遠藤 仁	鈴木 義弘		
佐藤 秀雄	奥山 賢		
神保 恵子	栗野 康正		
森田 健夫	齋藤 幸安		
大江 茂夫	南沼原地区	豊田 久夫	
山川 陸彌	阿部 光成		

事務局だより

山形市シルバー人材センター
山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)23(6)47(6)47

新事務局職員紹介

ようこそご入会ください。



臨時職員 山本苑里華
子育て支援
コーディネーター

配分金Ⅱ所得税法上の取扱い

シルバー人材センターの仕事をして得た『配分金』は所得税法上では「雑所得」として取り扱われ、課税対象者になると思われる会員の方は各自において最寄りの税務署に申告が必要になります。

センターでは、平成二十五年分の配分金の合計額を証明する『配分金支払証明書』を発行いたしますので、必要な方は、一月二十九日までに事務所へご連絡下さい。

二月三日以降に事務所窓口で交付いたします。

なお、「配分金」については、六十五万円の控除が認められており、配分金以外の収入が無い場合には、基礎控除三十八万円を含めて百三万円まで所得税が課税されないこととなります。

受給者の区分	その年中の公的年金等の収入金額 (A)	公的年金等控除額
年齢65歳以上の人 (昭和24年1月1日以前に生まれた人)	330万円以下	120万円
	330万円超410万円以下	(A)×25% +37万5,000円
	410万円超770万円以下	(A)×15% +78万5,000円
年齢65歳未満の人 (昭和24年1月2日以後に生まれた人)	770万円超	(A)×5% +155万5,000円
	130万円以下	70万円
	130万円超410万円以下	(A)×25% +37万5,000円
	410万円超770万円以下	(A)×15% +78万5,000円
	770万円超	(A)×5% +155万5,000円

また、公的年金を受けている場合は配分金とは別に所得控除が受けられます。公的年金控除額は左記の表のようになっていきます。

なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合は所得控除及びその他の控除については、税務署にお尋ねください。

URL: <http://www.sjc.ne.jp/yamagatahi/>
E-mail: yamagatahi@sjc.ne.jp

お知らせとお問い合わせ



配分金支払日

- 一月二十日 (月)
- 二月二十日 (木)
- 三月二十日 (木)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘を願います。

- 一月九日 (木) 十六日 (木)
- 二十三日 (木)
- 二月六日 (木) 十三日 (木)
- 二十日 (木)
- 三月六日 (木) 十三日 (木)
- 二十日 (木)

就業相談日(午後一時三十分)

- (就業に関しての相談です)
- 一月九日 (木)
 - 二月十三日 (木)
 - 三月十三日 (木)



あとがき

会員の皆様、決意も新たに希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年は、長年暗雲に覆われていた日本がデフレからの脱却を目指し異次元の金融緩和を始めとする政策により日銀短観によれば大企業はもとより中小企業の非製造業にいたっては実に約二十二年ぶりにプラスとなり景気循環の予地が整いつつあることが示された年ではなかったでしょうか。

加えて二〇二〇年オリピック東京開催決定も明るいニュースでした。シルバー人材センターにとっては正会員数が増加に転じたことも嬉しいニュースです。

本年は、景気回復の実感が全国津々浦々まで持てる年となるよう願うばかりです。特に山形県は、飛行機の後輪に例えられて久しい、すなわち景気回復に一番遅く反応し景気の下局面にはいち早く反応する。

四月一日からの消費税八%によつて懸念される消費の冷え込みも一時的なものであつて欲しいものです。

何れにしても本年も会員同志の絆を深め読み応えのある紙面づくりに広報部会員一同努めますので会員皆様のご理解とご協力を切に願ひ致します。

末筆ながら二〇一四年が皆様にとりまして素晴らしい一年となるよう心からお祈り申し上げます。